

谷津田での活動への抱負

下大和田と小山の谷津田で活動している皆さんに2011年の抱負を語っていただきました。

★下大和田

- ・① 米作り講座を少レベルアップして今年も実施したい。
 - ・② 下大和田谷津でタシギ、クサシギ、アリスイいずれかの写真を撮りたい。(網代春男)
 - ・昨年は猛暑の為、田んぼの手入れが十分できず収穫時にはちょっと残念な気持ちになりました。自然任せもいいですが、散歩される地元の方々にも誇れるくらい・良くやっているといわれるような田んぼにしたいと思います。それが小さな生き物にも住みよい田んぼに繋がると思います。大塚田では、ここ2~3年不耕起栽培しましたが、どうしても田んぼが固くなる場所がありました。また、草も繁茂しやすく大変ですが田起しをしようと思っています。未だ元気うちにと！(石橋紘吉)。
 - ・2011年は国際森林年でもあり、下大和田の活動を通じて里山の保全に関わると共にそのあり方について考えたいと思います(小田信治)。
 - ・今年も自然にたくさん癒されたいです。元気に怪我なく、みなさんと楽しい時を過ごすのを楽しみにしております(大谷祥)。
 - ・今年は、谷津田の食にこだわってみたいなあと思います。イナゴをみんなにとって佃煮にして食べるというのをやりたいなあと・・・それから、県内のほかの谷津田も訪れてみたいです(小西由希子)。
 - ・皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になりました。今年是可以ることを無理しないで実践して行きたいと思っています。心がけることとしては
 - ① 自然と親しむとともに適度な運動を行い、健康に留意する。
 - ② 自然の恵みに感謝して、自然素材を使ったクラフトを作って楽しむ。
 - ③ 周りの人々との心の絆を大切にする。
- などです。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。(渋谷雄二)
- ・当たり前に見えるようになってしまっている谷津の自然を初心に帰って見つめ直してみたいと思います(高山邦明)
 - ・昨年5月から下大和田で実施している、高校生物研究部の環境と生物の調査活動。2年目に入って、さらに充実させていきたいです(田中正彦)。
 - ・新しい年が明けました。今も谷津田では冬鳥が飛び交いアカガエルは産卵の準備をしていることでしょう。この大好きな谷津田で今年も仲間と共に活動ができることを嬉しく思います。季節の移ろいを感じながら活動を通じて谷津田を楽しみたいと思います(平沼勝男)。
 - ・谷津田での米作りを楽しみながらも、今年は生き物の賑わいにもっと目を向ける年としたいです(福満美代子)。
 - ・今年谷津田でたくさんの鳥に出会い、その様子を観察したいです。よろしくお願ひします(古川美之)。
 - ・① 網代さんの観察会にもっと参加して生き物に詳しくなる。
 - ② 下大和田リピーターの友人やその家族も米作りに参加して、谷津田で楽しい時間をすごしてほしいと思います。
 - ③ 渋谷クラフト工房で修業して、谷津田運動会のバッチを自分でも作れるようになる。
 - ④ どんど焼きの時に水路でボートレースをする。ほたる通貨を賞金。
 - ⑤ 3年目に入る谷津田大福帳を継続する。
 - ⑥ 4月から心理学を履修する。
 - ⑦ 自転車通勤を継続する。(もうじき累積地球2周の距離) (南川 忠男)
 - ・四季のそれぞれの谷津田を感じながら楽しく参加させていただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします(山口ファミリー)。



今年の干支うさぎのクラフト(渋谷さんの作品)

★小山

・米作りはビッグプロジェクトでした。さらに精進して、谷津田に潜む自然のフォースを手に入れたいと思います（稲富直彦）。

・大変でしたが、本当に楽しかったです。今年はもっと要領よく、綿々とこなせる様がんばります（稲富理枝）。

・学校田んぼもYPP田んぼも、雑草だらけにせず、秋の収穫を迎えられるようにしたいです。みんなで協力して、楽しく作業できたらいいなと思いますので、よろしくお願いします（江澤芳恵）。

・今まで小学校田んぼでは主に田作りのことを子供達に伝えてきました。でも食料問題が色々ある昨今、それらについても子供達に考えてもらいたいと思うようになりました。今年は田作りを通して子供達の心に色々なことを伝えてみたいと思います。未来の日本の自然と農業に対する先行投資として、子供達と過ごす時間を一秒一秒、大切にしたいです。そして彼らが大人になった時に、彼らが汗を流した田んぼが変わらず残っているように、力を尽くしたいです（大谷祥）。

・今年で6回目になる稲作。日照不足の年だったり、猛暑の年だったり毎年同じではない苗代作りから収穫に至るまで、自然と向き合う作業は心が折れそうになることもあります。生きものの鳴き声や動き、仲間との会話、谷津を渡る風が病みつきに… 今年もどんな稲作になるか楽しみです（齊藤 薫）。

・学校田んぼなどで接する子どもたちに谷津の自然や米づくりの魅力をどのように伝えたらよいか考えながら活動する一年にしたいと思います（高山邦明）。

・昨年は、大椎小に加え、あすみ小の学校田んぼも行われ、たくさん子どもたちやご父兄の方々が谷津田に来てくださりにぎやかに作業できました！ありがとうございました。たくさんの方々と谷津田のすばらしさを共有できた反面、地元の方々にご迷惑をおかけしてしまいました。今年は、地元の方々が田畑で仕事をし生活している場でもあること、谷津田の生き物をみなで保全していこうということを、きちんと理解していただき、学校田んぼをすすめていきたいと思います。地元の方々、そして、学校田んぼをお手伝いくださいますみなさん、今年もよろしくお願いいたしますm(_)_m（松下恵美子）

・自分の田んぼで、開墾から収穫までのすべてをやってみたい。少しずつでも、休耕田を田んぼに戻していきたい（柳町健治）。



うさぎの稲刈り（稲富直也さんの作品）

2010年の米づくり報告

昨年2010年の下大和田と小山での米づくりについて報告します。

米づくりの作業日程と収穫量は下記の表のとおりになります。

コシヒカリは田植え後の日照不足の影響で分けつが悪かったために、例年よりも穂の数が少なく、収量が少なかったようです。この状況につきましては、谷津田だより9月号に詳しく報告しましたのでご覧下さい。稲刈りをしていても株が細くて稲束が軽いのがよくわかりましたね。

一方、古代米の中で一番たくさん作っている緑米は例年同様、立派な株に育ってくれました。

米づくりに参加して下さった皆さん、ありがとうございました。（報告：高山 邦明）

イベント	下大和田	小山
コシヒカリの種まき	4/10(土)	4/10(土)
古代米の種まき	4/10(土)	5/5(水)
田起こし	5/8(土)	4/10(土)ほか
コシヒカリの田植え	5/15(土)	5/28(金)・6/2(火)ほか
古代米の田植え	5/15(土)	6/5(土)ほか
コシヒカリの稲刈り	9/18(土)	9/26(日)
コシヒカリの脱穀	10/2(土)	10/8(金)
古代米の稲刈り	11/6(土)	10/24(日)・11/3(水)ほか
古代米の脱穀	11/13(土)	11/17(水)・28(日)ほか
籾すり	11/20(土)	12/17(金)

	下大和田	小山
コシヒカリ	81 kg	11 kg
農林一号	16 kg	-
緑米	104 kg	53 kg
黒米	12 kg	3 kg
赤米	2.5 kg	2 kg

* 小山ではこの他に地元大椎小学校・あすみが丘小学校がコシヒカリ 50kg 強を収穫しました。



里山たんけんレポート

第131回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い 生きもののつながり —初冬の谷津田— 生きものの冬越し—

2010年12月5日(日) 晴れ

今日は千葉大学の留学生8人が環境学習で参加、国際色豊かな観察会になりました。テーマは生きものの冬越し。北国からここの谷津で冬を越す鳥達も集まって来ている時期で鳥の冬越しを中心に両生類、爬虫類、昆虫などの冬越しにも思いを馳せながら谷津を一巡しました。前日、下見をした時には18種の鳥が見られたのですが、大人数で巡ったためか10種程度を数えたに過ぎませんでした。それもほとんどは声を聞かせてくれただけでスコopでじっくり見る機会はひとつもありませんでした。オオタカが舞う姿が見られましたのでそれで鳥は姿を隠していたのかも知れません。アオジはたくさんの方が聞け、順調に来ているようでした。ショウウビタキの声も聞けました。これから冬鳥はもっと多くなるでしょう。

暖かい日が続いたためか枯葉色で迷彩色を施したようなニホンアマガエルが子どもに捕らえられていました。ニホンカナヘビ、アオダイショウも姿を見せました。たくさんいたニホンアカガエルやシュレーゲルアオガエルは冬眠態勢に入ったのでしょうか、見られませんでした。田んぼのメダカも姿を隠していましたが、湧水が出ている田んぼでは群れて泳いでいました。

山の樹木の名札下ではヤニサシガメやカレハヒメグモがいました。公園などの名札下をそっと覗くと越冬中の虫やクモなどが見られますから面白いですよ。越冬している虫に影響を与えないように気配りしましょう。樹皮をはがして観察するようなことはやめましょう。

(参加者 大人20名、子ども9名； 報告：網代春男)

第116回 下大和田 YPP「収穫祭」

2010年12月18日(土) 晴れ

大和田の田んぼで恒例の収穫祭が行われました。朝は冷え込みましたが快晴で風がない穏やかな天候に恵まれました。

収穫祭の一番の楽しみは何と言っても古代米の緑米のもちつきです。せいろで蒸かしたお米を大きな臼でつきます。大人も子どももみんなが順番につきます。「ヨイショー、ヨイショー」のかけ声に合わせてペタン、ペタン、子どもたちは大人に支えてもらって重い杵を振りまわしました。つきたてのお餅はとってもおいしい！泥深い田んぼに足を取られながら田植えや稲刈りをしたことを思い出しながら味わいました。コシヒカリは羽釜やお鍋で炊いて食べました。こちらも美味で、お焦げも人気でした。そのほかにも焼き鳥、焼きそば、焼き魚、焼きイカ、お汁などたくさんのメニューがあって、あれこれ舌つづみを打ちながらあちこちで話に花が咲いていました。

お腹が一杯になったところで、クラフトコーナーでは稲わらを使ったリースづくりが始まりました。小さな子どもでも簡単にできるリースで、わらでうまく輪を作ったところに思い思いの飾りを付けて、みんな素敵なリースができてあがって満足げでした。

最後に谷津田ウルトラクイズをしました。米づくりや谷津の自然に関する問題に子どもたちは真剣に耳を傾けていました。たくさん答えられた人は手作りのうさぎのクラフトのバッジをもらいました。

(参加者：大人35名、子ども31名；報告：高山邦明)



たくさんの皆さんが参加してくれました(撮影：田中 正彦)

第61回 小山町 YPP「田んぼの手入れ」

2010年12月12日(日) 晴れ

今回は田んぼの整備をしました。畦や田んぼ脇の竹林の整備、草の刈り払い、斜面の土階段の整形などなど。参加者七人で作業を分担し、優先順位の高かった作業を済ませました。

後半は脱穀済みの緑米の風選もしました。唐箕での風選が初体験の方が多く、みんなでわいわい楽しみながらの作業となりました。後日、コシヒカリや黒米、赤米と共にスタッフが籾すりをし、玄米となりました。

田んぼの水が冷たかったり、日陰部分での作業は体が冷えたりしましたが、楽しい冬仕事の日でした。

(参加者：大人5名、子ども2名 報告：大谷祥)



一年間お世話になった田んぼを整備中(撮影：大谷祥)

<谷津田・季節のたより>

小山町

12月23日 この時期には珍しくまだハキダメギクが咲いていた(高山)。

下大和田

12月17日 コバネイナゴが暖かな日差しの下で弱々しくはなっていた。収穫祭が行われている広場の脇でジョウビタキがしきりに鳴いていた(高山)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも)：ちば環境情報センター (TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/)

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第117回「どんと焼きと昔あそび」

年明け最初のYPPもまたまたお楽しみのだんご焼きと昔遊びの会です。

日時：2011年1月9日(日)10:00~14:00 小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など>料金は520円)

持ち物：弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、どんと焼きで燃やしたいものなど。

参加費：ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催：ちば環境情報センター 共催：ちば・谷津田フォーラム

▼第133回 下大和田2月の谷津田観察会とごみ拾い

ニホンアカガエルの産卵が始まっている頃です。卵塊を探したり、冬鳥の姿を求めて谷津を巡ります。

日時：2011年2月6日(日)観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田YPPに同じ)

集合：下大和田YPPに同じ

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費：100円(小学生以上、資料代など)

主催：ちば・谷津田フォーラム 共催：ちば環境情報センター

▼第62回 小山町YPP「自然観察」

真冬の谷津を散策して、冬鳥など寒さに負けず元気に活動する生きものを観察します。

日時：2011年1月29日(土)10:00~12:30 *小雨決行

場所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物：飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあれば双眼鏡など。

参加費：100円(小学生以上、資料代など)

主催：ちば環境情報センター

編集後記 皆さん、新しい年をいかがお迎えですか？ 年頭にあたり、下大和田と小山での谷津田保全活動に活躍して下さっている方々に今年の抱負を述べていただきました。皆さんの熱い思いが伝わってきて心強く、うれしい限りです。昨年は初夏の日照不足や猛烈な夏の暑さという異常気象の影響を受けましたが、今年はどうでしょう？ 下大和田YPPは11年目に入り、次の10年のスタートの年です。小山YPPでは2つの小学校を迎えての学校田んぼのサポートを含めた活動が確立していくところです。皆さんの力を合わせてますます充実していく活動を楽しく進めて行かれたらと思います。今年もよろしくお祈りします。(高山邦明)